

ハムシの仲間

ハムシは幼虫も成虫も植物の葉を食べる甲虫で大変種類が多いが、ほとんど1cm未満の虫。害虫とされることが多い。



成虫



成虫の食痕



幼虫

サングジュハムシ

ハムシ科 体長 5.8 ～ 6.8mm サングジュやガマズミの葉を食べる。秋に冬芽の脇の枝に傷をつけ産卵し、その上に分泌物を塗りつけて隠す。



成虫



丸く傷をつける

クロウリハムシ

ハムシ科 体長 5.5 ～ 6.5mm カラスウリなど、ウリ科の葉を食べる。葉に丸く傷をつけ、植物が出す防御物質を遮断してから、その中を食べる。



成虫



幼虫



食べられたオオブタクサの葉

ブタクサハムシ

ハムシ科 体長 3.5 ～ 4.7mm 北アメリカ原産の外来種。ブタクサ・オオブタクサの葉を食べるが、その他のキク科の植物も食べる。



成虫



幼虫

ニレハムシ

ハムシ科 体長 6.5 ～ 7mm ケヤキの葉を食べる。



ウリハムシ

ハムシ科 体長 5.6 ～ 7.3mm ウリ科植物の葉を食べる。